

(様式第7号)

地域の課題解決のための活動報告

記入日：令和 2年 6月 30日

作成者：南 ゆう子

地域の課題解決のために行った活動を1つ選び、できるだけ具体的数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

*この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団体名	
芦屋ユネスコ協会	
事業名	日時(期間), 場所
世界寺子屋運動 —書き損じハガキの回収活動—	年間を通して実施
内容(実績) *実施したことを具体的に	受益者数
●「書き損じハガキ・キャンペーン」は、ご家庭に眠っている“タンス遺産”を募金に換える活動で、過去30年間続いています。	(不特定多数)
●2019年度は、芦屋市内の公共施設や公立・私立の小・中学校、高等学校13校を含めた21カ所に回収ボックス等を設置させていただき、書き損じハガキ等のご寄贈を多数いただきました。	参加者数 (不特定多数)
成果(社会へのインパクト) *どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に	
●2019年度の書き損じハガキは切手に交換し、未使用の切手・カード類はそのまま日本ユネスコ協会へ届けました。その総額は、209,658円にものぼりました。 ※日本ユネスコ協会連盟で取りまとめ、カンボジア・アフガニスタン・ミャンマー等へ「世界寺子屋運動」の活動支援金として送られています。 ※カンボジアでは、書き損じハガキ11枚で1人が1カ月学校に通えます。	
今後の展望(どのように継続, 発展するか)	
●全国から集められたこれらの募金は、2020年度はアフガニスタン・ネパール等への新型コロナウイルス対策支援プログラムにもあてられています。 ●今後も、芦屋ユネスコ協会の重要な活動として、継続していきます。	